

【宮之當】歴代入當者一覧

兵庫県加東市吉井・吉井住吉神社

西 暦	邦暦(年号)	入 當 者	世 話 人	給 仕 人	水 汲 人	宿/入當者総数	備 考
1922	大正11年						宮之當専用の黒二重折り箱を使い、赤飯用・肴用として必要分を御供部屋で炊き折に詰める。 1990(H2)年迄使用す
1923	大正12年						
1924	大正13年						
1925	大正14年						
1926	昭和元年	岸本義雄 久保稚次				岸本 智宅 96名	正月13日に直会（1968年まで？）
1927	昭和2年						
1928	昭和3年						
1929	昭和4年						
1930	昭和5年						
1931	昭和6年						
1932	昭和7年	岸本一成 岸本政治※				岸本 智宅 95名	正月13日に直会
1933	昭和8年	岸本亀雄 岸本悦郎				95名	正月13日に直会
1934	昭和9年						
1935	昭和10年						
1936	昭和11年						
1937	昭和12年						
1938	昭和13年						
1939	昭和14年	井上武男 長濱茂門				86名	正月13日に直会
1940	昭和15年						

西 暦	邦暦(年号)	入 當 者	世 話 人	給 仕 人	水 汲 人	宿/入當者総数	備 考
1941	昭和16年						
1942	昭和17年						
1943	昭和18年						
1944	昭和19年						
1945	昭和20年						
1946	昭和21年						
1947	昭和22年						
1948	昭和23年						
1949	昭和24年						
1950	昭和25年						
1951	昭和26年						
1952	昭和27年						
1953	昭和28年						
1954	昭和29年						部落外在住者には送り膳をしない
1955	昭和30年						
1956	昭和31年	長尾正和 久保正信	岸本幸二 長濱鹿一	長濱茂門 久保和巳			
1957	昭和32年	岸本雄二 井上富士夫	長濱鹿市 岸本弥三郎	岸本徳寿 久保富雄	岸本悦郎 井上		
1958	昭和33年	岸本輝夫 岸本龍巳※	長濱鹿市 岸本弥三郎	岸本 求 藤原 明	岸本一雄 岸本昭夫	岸本龍巳宅 92名	2月13日直会 存続している一番古い規約
1959	昭和34年	岸本辰巳 平川琢己					
1960	昭和35年						

西 暦	邦暦(年号)	入 當 者	世 話 人	給 仕 人	水 汲 人	宿/入當者総数	備 考
1961	昭和36年	岸本茂春 岸本 仁	井上光二 岸本弥三郎	岸本仙治 久保和巳	岸本浩昂 岸本 貢	岸本 仁宅 93名	規約存続
1962	昭和37年						
1963	昭和38年						
1964	昭和39年	岸本日出夫 岸本善貞		久保富男		岸本日出夫 宅	
1965	昭和40 年						
1966	昭和41 年						
1967	昭和42 年						
1968	昭和43 年	岸本廣司※ 久保正嗣	岸本一雄※	岸本 求※			當人(2)・世話人(2)・給仕人(2) が一方の入當者宅にて宿が 1989年迄続く
1969	昭和44年	長尾 寛 岸本元一	岸本幹夫 岸本一雄※	岸本義己 岸本輝夫			御供部屋改築 直会開催日は2/11に固定
1970	昭和45年	岸本勝芳 岸本伸一	岸本幹夫 岸本浩昂	岸本 清 岸本徳壽	岸本雄二 藤原 明		
1971	昭和46年	岸本孝和 久保勝彦	岸本悦郎 長濱茂門	岸本忠郎 岸本昭治		岸本孝和宅	
1972	昭和47年	岸本明義 岸本靖彦	岸本浩昂 長濱茂門	岸本武夫 岸本 仁		岸本靖彦宅	御神酒1斗2升→8升到縮小 参会者が少ないため、4升分は 折代金に回す
1973	昭和48年	長尾正之 岸本仁志	岸本幹夫 長濱茂門	長尾秋夫 岸本茂春		岸本仁志宅	
1974	昭和49年	岸本徳夫 岸本正雄	岸本 格 長濱茂門	岸本勝芳 岸本良一		岸本正雄宅	昭和36年の写し規約
1975	昭和50年	長尾博之 岸本安茂	長濱茂門 岸本信之	長尾英明 久保盛夫		岸本安茂宅	
1976	昭和51年	岸本 官 岸本和義	岸本浩昂 岸本信之	岸本 貢 岸本孝和	岸本 仁 岸本徳寿	岸本 仁宅 102名	
1977	昭和52年	井上正澄 藤原弘一	長濱茂門 岸本信之	久保富雄 岸本輝夫		井上正澄宅 103名	
1978	昭和53年	岸本幸雄 岸本 誠※	岸本義己 岸本浩昂	岸本輝夫 久保富雄			
1979	昭和54年	岸本 晋 塩田清文	岸本浩昂 岸本義己	岸本廣司※ 久保富雄			
1980	昭和55年	岸本義昭 岸本 明	岸本浩昂 長濱茂門	岸本輝夫 平川琢己		岸本義昭宅 105名	

西 暦	邦暦(年号)	入 當 者	世 話 人	給 仕 人	水 汲 人	宿/入當者総数	備 考
1981	昭和56年	長尾農夫也 長尾浩辰	岸本浩昂 長尾英明	長尾 茂 長尾 寛			
1982	昭和57年	長濱弘毅 平川和宏	岸本浩昂 長尾英明	岸本辰巳 岸本昭治		平川宅	
1983	昭和58年	久保逸人 岸本 正※	長尾秋夫 長濱茂門	久保正嗣 岸本 誠		久保逸人宅	
1984	昭和59年	藤原 崇 井上晋吾	伊藤 稔 岸本信之	岸本昭治 井上正登			
1985	昭和60年	伊藤誉洋 岸本 隆	岸本浩昂 岸本信之	岸本昭治 岸本 宇			
1986	昭和61年	岸本利幸 岸本茂数	岸本浩昂 長濱茂門	岸本廣司※ 岸本靖彦	岸本 仁 久保和巳	岸本利幸宅	
1987	昭和62年	岸本和朗 長尾和典	岸本浩昂 長濱茂門	平川琢己 岸本俊郎		長尾和典宅	
1988	昭和63年	平川米一 岸本将利	岸本浩昂 長濱茂門	平川琢己 平川栄一	岸本 弘 岸本俊郎	平川米一宅	1988年迄、當人・世話人・給仕人が一方の入當者宅にて宿
1989	平成元年	岸本芳明 平川耕司	岸本浩昂 長濱茂門	久保盛夫 岸本武雄	岸本勝芳 平川栄一	岸本芳明宅	
1990	平成2年	岸本圭司 岸本辰洋	岸本浩昂 長濱茂門	平川琢己 岸本俊郎		岸本圭司宅 110名	當人のみ宿(世話人と給仕人の宿廃止).赤飯・肴折もなくし簡素化する。その他数点改正
1991	平成3年	岸本 篤 久保英毅	久保和巳 長濱茂門	岸本 晋 久保逸人			世話人1名は区長に
1992	平成4年	藤原孝成 岸本英典	岸本浩昂 岸本義昭	岸本龍巳※ 久保逸人		106名	一家所で6名が寝食を共にしの宿泊がなくなってからは、帳結びの夜・前日の午後から夜・当日朝の出立ち・当日夜のご苦労さん会は、當人の家で分担実施する
1993	平成5年	岸本和典 井上 寛	岸本 仁 岸本浩昂	岸本龍巳※ 平川耕司			
1994	平成6年	岸本泰幸 長尾文裕	岸本 仁 長濱茂門	岸本勝芳 長尾農夫也			
1995	平成7年	伊藤賢吾 岸本伸彦	岸本 仁 岸本廣司※	岸本 晋 岸本和郎		105名	
1996	平成8年	長尾雄一 岸本宏康	岸本廣司※ 長濱茂門	長尾 寛 岸本勝芳		107名	
1997	平成9年	岸本英樹 岸本泰行	岸本 仁 岸本廣司※	岸本靖彦 岸本将利		108名	世話人は区長・副区長に
1998	平成10年	岸本崇行※ 岸本裕幸※	岸本 仁 井上 淳	久保勝彦 久保逸人			
1999	平成11年	岸本辰也 岸本一也	井上 淳 藤原良平	岸本 宇 岸本 誠※		109名	弓株・包丁株の代行順位決定的の新調
2000	平成12年	岸本和也 岸本浩征	長尾 寛 藤原良平	岸本勝芳 久保逸人		110名	直会開始時間、持参物の改正

西 暦	邦暦(年号)	入 當 者	世 話 人	給 仕 人	水 汲 人	宿/入當者総数	備 考
2001	平成13年	岸本靖史 平川成一	長尾 寛 藤原良平	岸本俊郎 久保逸人		109名	末之當の決定は、その年の初常会に。以前は直会において次の入當者を決定
2002	平成14年	岸本賢弘 岸本晋哉	藤原良平 岸本昭治	岸本 誠※ 岸本明義		107名	
2003	平成15年	岸本陽一 岸本吉正	藤原良平 岸本昭治	岸本 官 岸本泰行		109名	
2004	平成16年	久保和幸 岸本昌英	岸本昭治 岸本勝芳	久保正信 平川米一			御神酒8升は部落負担??
2005	平成17年	堀 昭博 岸本浩二	岸本昭治 岸本勝芳	久保正信 久保逸人			
2006	平成18年	塩田淳悟 宮下隆人	岸本勝芳 久保正嗣	久保正信 久保逸人		108名	加東市誕生（'06.3.20）...旧加東郡3町の合併
2007	平成19年	岸本良任 久保和斗	岸本勝芳 久保正嗣	岸本龍巳※ 久保英毅		108名	「宮之當規約」による運営は本年まで
2008	平成20年	この年より、地区の統括の元に企画運営する					本年より「新宮之當の内規」により執り行う（別紙記載）

（名前は全て敬称略で記

保存されている古文書(規約・心得、姓名帳、送り膳帳、VTR、DVD、写真 etc.)は吉井公民館に保管。

詳細は「宮之當規約」に記載。尚各当該年度の「姓名帳」or「送り膳帳」は各入當者の家庭に保存

注1：入當者=宮之當規約、第1条の當人資格に該当する者

注2：世話人=帳結びから直会の前日の準備、当日の直会・神事のすべてを統括・指揮運営する

注3：給仕人=直会の料理・御神酒等の接待や給仕をする。

注4：水汲人=宮には水道がなく各家庭より使用する飲み水等を搬入し、御供部屋で煮炊きをする
（当日は早朝より、料理の折り詰め、赤飯の炊き込み、御神酒の燗etc.）

注5：宿=どちらかの入當者宅で、直会の前夜に宿泊して寝食を共にして、身を清める風習
（宿泊する人は、入當者2人・世話人2人・給仕人2人・水汲人2人）

注6：〔ご姓名※〕の右上の※印は、姓名は宮之當入當の姓で、現在は藤原です